

オーガニックカフェ・  
ウインドファーム 今宿店  
2022年8月  
福岡市今宿に  
オープン



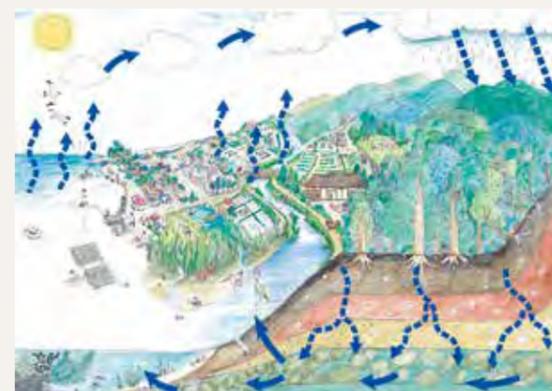
今宿店インスタ情報

## 森を感じ、森とつながるカフェ

北九州の水巻店に続き、福岡市の西区今宿でも「オーガニックカフェ・ウインドファーム」がオープンしました。今宿店は、「森を感じ、森とつながるカフェ」というコンセプトを大事にしている。店内のフローリングや机や棚、お店の看板をすべて自分たちで森から伐り出してきた間伐材でつくりました。

### なぜ、間伐材にこだわるのか

今の日本の森は50から60年前に植林されたまま間伐がされていません。そのため木の根が大地に張れず、成長できないまま倒れやすい木になっています。森には杉かヒノキしか生えておらず、陽が遮られるので他の植物が生えることができません。森の中だけでなく、地中の微生物や菌の多様性も損なわれ、水を蓄える力も弱くなっています。その結果、水循環が機能しなくなり豪雨による水害が増えている状況です。



水の循環



2021年夏の豪雨により土砂崩れを起した糸島の森

### 森を再生させる「皮むき間伐」の取り組み

しかし間伐することで、森に光が入り、植生や土壌が豊かになります。杉やヒノキも根が張って倒れにくくなり、水を蓄える力も回復します。10年前、僕は仲間と「NPO法人いとなみ」を立ち上げ、糸島の森を生物多様性の森に戻していくための間伐を始めました。それはただの間伐ではなく、チェーンソーを使わずに誰でも参加できる「皮むき間伐」です。（左写真上）木の皮をむくと、木が水分と養分を吸い上げなくなり、森の中で木は立ったまま乾燥し、枝が枯れて落ちていきます。すると、地表に光が射して他の植物が生え、周りの木々も成長することができます。

また、皮をむいた木は水分が抜けて軽くなっているため、少ない人数で搬出できます。（左写真中央）伐り出すのに重機や大型トラックや林道も必要なくなり、搬出のコストが大幅に下がり、環境に負荷をかけることもありません。「皮むき間伐」は誰でも参加でき、参加した人たちが森に関心や愛着を持つきっかけになります。そして間伐材を扱うという意識が生まれ、みんなで地域の森を



子どもたちと一緒に皮むき間伐をしているところ

豊かにしていこうという機運が高まっていく。それが「皮むき間伐」の最大の利点と言えます。

### 間伐材を無駄なく利用してカフェ作り

今宿店では、2年から4年前に糸島の森で皮むき間伐をした木を使っています。特にフローリングには一番こだわりました。森の中で出番を待っていた木を、なるべく余すところなく使えるように、幅の違うフローリングを4種類つくりました。そうすることで、太い木も、細い木も、木の切れ端も、最大限使うことができました。

そして、フローリングを床に貼るのも自分たちでやりました。お店でフローリングを貼っていると、いろんな人が声をかけてくれました。僕はその都度、嬉々としてお店の紹介をすることができました。大工さんに貼ってもらっていたらこうはならなかったと思います。自分たちで貼ったからこそ地域の人たちとつながりが生まれたと思います。今も近所の方がカフェに来られ、「床を貼っているのを見て、何が出来るのか気になっていました」と言っ



軽くなっているので子どもも運ぶことができます



注文してくださる方もいて、さらなる活用につながっています。

オーガニックカフェ・ウインドファームが街にいなから森を感じることができような、そんな森の入り口になるようなカフェにしていきたいと思っています。時には実際に森に入って間伐作業や夏みかんの収穫を体験し、ともに学び合い、成長し合っていく。オーガニック栽培や森林再生が当たり前になり、森の恵みを食べ、使い、生活することで、森と人が有機的につながり、森のような社会を生み出していかれたらと思っています。



今宿店の店内：間伐材に囲まれています

藤井芳広（ふじい よしひろ）  
NPO法人いとなみ 代表理事 / 株式会社SECAEL 取締役 / 一般社団法人コモンフォレストジャパン 代表理事

滋賀県生まれ。2003年よりナマケモノ倶楽部に参加、様々な環境活動・社会活動を行う。  
2009年 「walk9/韓国巡礼」として韓国を100日かけて一周歩き、国を超えた環境運動・平和運動の必要性と可能性を感じる。  
2010年 東京から韓国やアジアから近い福岡県糸島市に移住。仲間とともにNPO法人いとなみを結成し、森の再生とアジア交流を核とした循環型コミュニティづくりに取り組んでいる。  
2014年 糸島市議会議員当選。2期8年務める。  
2020年 「糸島 food forest」、「株式会社SECAEL」を立ち上げ、森を再生するビジネスを展開している。  
2022年 一般社団法人コモンフォレストジャパンを立ち上げ、森をみんなの共有地として次世代に残していく活動を始める。

